

令和4年度 家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「家庭総合 自立・共生・創造」 (東京書籍)						
副教材等	Super Live View 家庭科 資料+食品成分表 (東京書籍)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・日常生活との関りを確認し、家庭や地域、社会に関心を持って積極的に取り組みましょう。
- ・実習を取り入れ、知識・技術を実践的・体験的に習得します。
- ・初めて体験すること自信のないこともやってみましょう。また、日常生活で練習しましょう。
- ・多様な考え方を知り、自分の考えを持ちましょう。

2 学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	家庭や地域の生活や自分自身の行動の仕方に関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	家庭や地域の生活や自分自身の行動の仕方について課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身に付けている。	家庭の生活や自分自身の行動の仕方を充実向上するために必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。	家庭生活の意義や役割を理解し、家庭や地域の生活、自分自身の行動の仕方を重視向上するために必要な基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評 価 方 法	授業での観察 対面指導での観察 ワークシート 感想・自己評価 等	授業での観察 ワークシート 感想・意見・自己評価 定期考査 等	授業での観察 対面指導での観察 ワークシート 実習作品 自己評価 等	授業での観察 ワークシート 感想・意見・自己評価 定期考査 等
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				



※令和3年度以前入学生用

12月 1月 2月	食生活をつくる	○食事と栄養・食品 ・無機質 ・ビタミン *第4回・第5回調理実習 ○これからの食生活 ・食料生産と食料問題 ・環境負荷の少ない食生活	○	○	○	○	a: 栄養や食料問題に関する学習を実生活に関連させて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組もうとし、実践する姿勢がある。 b: 栄養や食料問題に関する学習を実生活に関連させて課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身に付けている。 c: 食生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な技術を、実習を通して身に付け、向上させている。 d: 消費者として、食生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識を身に付けている。	授業観察 対面指導での態度 (実習態度) ワークシート 意見・感想 自己評価 定期考査 等
2月 3月	住生活をつくる	○住生活について考える ・平面図を理解する ・住居の計画 ・誰もが住みやすい住まい	○	○	○	○	a: 住居に関する学習を実生活に関連させて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組もうとし、実践する姿勢がある。 b: 住居に関する学習を実生活に関連させて課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身に付けている。 c: 住生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な技術を、身に付けている。 d: 消費者として、住生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識を身に付けている。	授業観察 対面指導での態度 ワークシート 意見・感想 自己評価 定期考査 等

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度      b:思考・判断・表現  
c:技能      d:知識・理解

※ \*は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。